

Qlik Sense 1.0以降の新機能

Qlik Sense®

September 2019

Copyright © 1993-2019 QlikTech International AB. All rights reserved.



© 2019 QlikTech International AB. All rights reserved. Qlik®, Qlik Sense®, QlikView®, QlikTech®, Qlik Cloud®, Qlik DataMarket®, Qlik Analytics Platform®, Qlik NPrinting®, Qlik Connectors®, Qlik GeoAnalytics®, Qlik Core®, Associative Difference®, Lead with Data™, Qlik Data Catalyst™, Qlik Associative Big Data Index™ and the QlikTech logos are trademarks of QlikTech International AB that have been registered in one or more countries. Other marks and logos mentioned herein are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

1 Qlik Sense September 2019 の新機能	9
1.1 高度なオーサリング	9
既定のランディングシート	9
フィルターパネルでの検索数の上限の拡大	9
Expression Promotion (数式プロモーション)	9
1.2 ビジュアライゼーションとマッピング	9
場所検出	9
Variance Waterfall (分散ウォーターフォールグラフ)	9
円グラフのスタイル指定	10
1.3 Qlik Sense Mobile	10
Web@work を使用するMobileIron への対応	10
iPadOS への対応	10
1.4 Qlik Connectors	10
Salesforce connector	10
Snowflake 接続	10
1 Qlik Sense June 2019 の新機能	11
1.5 高度なオーサリング	11
クリップボードへの値のコピー	11
モバイルデバイス上のグリッドレイアウト	11
ネイティブコンテナオブジェクト	11
1.6 ビジュアライゼーションとマッピング	11
Visualization Bundle の新しいチャート	11
棒グラフの改善	11
マップの [探索] メニュー	12
1.7 Qlik Sense Mobile	12
Qlik Sense Mobile への通知のプッシュ	12
1.8 Multi-Cloud	12
1.9 Qlik Connectors	12
1 Qlik Sense April 2019 の新機能	13
1.10 拡張知能	13
Associative Insights	13
1.11 ビジュアライゼーションとマッピング	13
マップの拡張機能	13
Visualization Bundle	13
1.12 Multi-Cloud	13
1.13 Qlik Sense Mobile	14
Qlik Sense Mobile for BlackBerry	14
1.14 Qlik Connectors	15
1 Qlik Sense February 2019 の新機能	16
1.15 操作性の改善	16
単ページアプリケーションフロー	16
1.16 高度なオーサリング	16
ドル記号展開プレビュー	16
1.17 ビジュアライゼーションとマッピング	16

Visualization Bundle	16
Dashboard Bundle	16
マップ背景レイヤーでの WMS への対応	17
1.18 Qlik Sense Mobile	17
1.19 Qlik Connectors	17
統合 Single Sign On (SSO) 対応	17
1 Qlik Sense November 2018 の新機能	18
1.1 拡張知能の強化点	18
参照元機械学習	18
インサイトアドバイザー ライト オーサリング	18
1.2 最新のオーサリング機能	18
代替 ステート	18
公開 set 分析	18
set 数式の改善点	18
項目内単一選択	18
Dashboard Extension bundle (ダッシュボード拡張バンドル) の完全サポート[#1]	19
1.3 コラボレーションの新しい方法	19
共有可能な Qlik Sense チャートリンク	19
1.4 ビジュアライゼーションおよびマッピングの強化点	19
新しいマッピング チャートレイヤー	19
円グラフの改善	19
アウトラインの不透明度設定	19
タイル マッピング サービスの強化点	20
1.5 管理の改善	20
インポートエクスポートアプリの改善	20
マルチクラウド開発	20
1.6 アクセシビリティ	20
2 Qlik Sense September 2018 の新機能	21
2.1 拡張知能	21
インサイトアドバイザー	21
2.2 高度なオーサリング	21
シート制御に対する改善点	21
アプリのカスタマイズ	21
数式エディタの強化	21
ビジュアライゼーションでの制御の向上	21
2.3 ビジュアライゼーションとマッピング	21
新しいマップレイヤー	21
マップの改善点	22
2.4 管理	22
バックエンドワークフローに対する改善点	22
2.5 モバイル	22
2.6 Qlik コネクタ	22
3 Qlik Sense June 2018 の新機能	23
3.1 作成、探索、コラボレーション	23

インサイトアドバイザー	23
セルフサービスの促進	23
高度なオーサリング	23
ファイルのデータのフィルタリング	23
ビジュアライゼーションとマッピング	23
ハブでのアプリ管理の改善	24
アクセス性	24
3.2 展開および管理	24
マルチクラウド	24
3.3 モバイル	24
BlackBerry Access ブラウザーに対応	24
3.4 Qlik Connectors	25
4 Qlik Sense April 2018 の新機能	26
4.1 作成、探索、コラボレーション	26
Qlik Sense チャート提案によるデータビジュアライゼーションの支援	26
ハブからのアプリの公開	26
ユーザーからのフィードバックに基づいた改善	26
マップ ビジュアライゼーションの改善	26
Qlik Sense ハブでのキーボードナビゲーションの対応	26
サードパーティ製 アプリケーションへの Qlik Sense Mobile のリンク	26
4.2 実装	27
展開の改善	27
Qlik Sense Mobile のアプリ毎 VPN モード	27
4.3 管理	27
新しいライセンス タイプの割り当て	27
分析接続の改善	27
匿名ユーザーによるデータのエクスポート	27
5 Qlik Sense February 2018 の新機能	28
5.1 作成、探索、コラボレーション	28
スクリプト内の Web ソースに対する動的に生成されたクエリ	28
分析接続からのテーブルのロード	28
推奨の関連付けによるデータ作成の簡素化	28
カスタム テーマによるアプリのスタイル設定	28
On-demand アプリの生成	28
Qlik Sense Mobile	28
ODBC コネクターの更新	28
5.2 展開、管理	29
SSO と Microsoft SQL Server	29
6 Qlik Sense November 2017 の新機能	30
6.1 作成、探索、コラボレーション	30
Qlik Sense アプリでのキーボードナビゲーション	30
データ マネージャーの [詳細] ダイアログ	30
手動でのデータの追加	30
計算された項目のための追加機能	30

新しい ODBC コネクタ	30
6.2 展開、管理	30
SAML single logout	30
7 Qlik Sense September 2017 の新機能	31
7.1 作成、探索、コラボレーション	31
データマネージャーでの順次操作	31
最近使った色の選択	31
データマネージャーのナビゲーションと使い勝手の改善	31
新しいビジュアライゼーション: ウォーターフォール グラフ	31
On-demand アプリの使い易さの向上	31
7.2 展開、管理	31
Qlik Sense Mobile アプリ	31
集中ロギング	32
8 Qlik Sense June 2017 の新機能	33
8.1 作成、探索、コラボレーション	33
On-Demand アプリ	33
新しいビジュアライゼーション	33
[データマネージャー] でのスクリプト化されたテーブルの同期	33
データプロファイリング カード	33
[データマネージャー] での連結	34
色および軸	34
8.2 管理	34
へのシングル サインオン接続 Cloudera Impala	34
新しい 3 つの監視 アプリ	34
分析接続	34
8.3 履歴	34
9 Qlik Sense 3.2 の新機能	35
9.1 作成、探索、コラボレーション	35
カレンダー メジャー	35
色とメジャー	35
9.2 実装	35
共有持続性	35
9.3 管理	35
デスクトップ認証	35
QlikView converter	35
10 Qlik Sense 3.1 の新機能	36
10.1 作成、探索、コラボレーション	36
データロード時の地域認識	36
スクロールの配置	36
デフォルトのアプリのテーマ	36
色をドラッグ アンド ドロップする	36
ナビゲーション	36
検索 Qlik DataMarket	36
Salesforce Connector は primary key chunking に対応	36

データベース コネクタでデータにフィルターを適用する	36
10.2 管理	36
Qlik Management Console	36
11 Qlik Sense 3.0 の新機能	37
11.1 作成、探索、コラボレーション	37
Qlik Sense にインストールされた Qlik コネクタ	37
データマネージャーでのテーブルの関連付けの管理	37
へのシングル サインオン接続 SAP HANA	37
新しいQlik DataMarket パッケージ	37
Qlik DataMarketデータセットの新しい複数 テーブル構造	37
アプリの公開	38
新しい言語サポート	38
アプリへのスタイル適用	38
スマート検索に視覚的な検索を追加	38
ウィジェットによるアプリの強化	38
タイムアウェア チャート	38
Qlik Senseハブで共有 されるコンテンツ	38
その他の変更	38
11.2 実装	39
IPv6	39
Qlik Deployment Console	39
11.3 管理	39
QMC 内の Monitoring アプリの改善	39
12 Qlik Sense 2.2 の新機能	40
12.1 作成、探索、コラボレーション	40
データマネージャー	40
代替の軸とメジャー	40
ピボットテーブルや他のチャートからデータをエクスポート	40
Qlik DataMarket	40
データストーリーテリング	40
12.2 実装	41
Qlik Sense Proxy Service 指標	41
Qlik Sense Printing Service のログ	41
Qlik Deployment Console のシステム要件	41
サイトの複製	41
S3 バケットに保存されたQlik Senseセットアップ ファイル	41
12.3 管理	41
新しいライセンス オプション	41
アプリのリソース使用を制限する	41
新しくなったQlik Management Consoleの監査 ページ	41
Operations Monitor アプリが QMC で更新	41
13 Qlik Sense 2.1 の新機能	42
13.1 作成	42
データの管理	42

アプリとビジュアライゼーションの作成	42
画像の管理	42
13.2 探索	43
ビジュアライゼーションの操作	43
13.3 コラボレーション	43
データストーリーテリング	43
13.4 実装	43
Qlik Sense 実装の計画	43
クラウドコンピューティング環境での Qlik Sense サイトの実装	43
13.5 管理	43
Qlik Sense サイトの監視	43
14 Qlik Sense 2.0 の新機能	44
14.1 Qlik Sense での作業	44
データの管理	44
アプリとビジュアライゼーションの作成	44
発見と分析	45
アプリの管理	45
共有とコラボレーション	45
データストーリーテリングの使用	45
Qlik Sense Desktop	46
14.2 Qlik Sense の展開	46
Qlik Sense 実装の計画	46
インストールとアップグレード	46
クラウドコンピューティング環境での Qlik Sense サイトの実装	47
14.3 Qlik Sense の管理	47
Qlik Sense サイトの管理	47
Qlik Sense サイトの監視	48
ログを使用した Qlik Sense のトラブルシューティング	48
15 Qlik Sense 1.1 の新機能	49
15.1 Qlik Sense での作業	49
アプリとビジュアライゼーションの作成	49
データストーリーテリングの使用	49
15.2 Qlik Sense の展開	50
インストールと設定	50
15.3 Qlik Sense の管理	50
Qlik Sense サイトの管理	50
Qlik Sense サイトの監視	50
クラウドコンピューティング環境での Qlik Sense サイトの管理	51

1 Qlik Sense September 2019 の新機能

1.1 高度なオーサリング

既定のランディング シート

ユーザーが Qlik Sense アプリケーションを開いたときに定義済みの選択を適用する機能を踏まえて、Qlik Sense September 2019 では開発者がランディング シートを選択して、ユーザーを特定のシートに移動させることができます。このアクションを定義済みの選択と結合して、ユーザーにとって必要な分析の焦点を提示し、Qlik Sense でガイド型アナリティクスのエクスペリエンスを強化することができます。

[アプリランディング ページを作成する既定のブックマークの設定](#)

フィルター パネルでの検索数の上限の拡大

フィルター パネルでの検索値の上限が 5,000 文字に増えて、より多くの値を一括選択できるようになりました。これまではフィルター パネルに入力できる検索文字列が 255 文字に制限されていたため、多数の異なる値をコピーアンドペーストして項目に選択を適用することができませんでした。

Expression Promotion (数式プロモーション)

この機能により、オブジェクトに作成されている軸またはメジャーをマスター アイテムに移動する迅速で効率的な方法を利用できます。この機能を使用すると、アプリケーション作成者は数式の作成とテストを行い、後にアプリケーション全体で使用する際のワークフローを改善し、生産性を向上させて再利用を推進することができます。

1.2 ビジュアライゼーションとマッピング

場所検出

マップ チャートの特色として、場所を示す新しいオプションが備えられました。新しいボタンを使ってクリックすると、使用中のデバイスから場所を取得することができ、後でマップにアイコンを追加したり、ユーザーの現在の場所にズームしたりできます。円の選択を使用して場所ベースの検索を実行し、モバイルおよび項目のユースケースに値を供給できるようになりました。セキュリティ上の理由から、iOS 向け Qlik Sense Mobile アプリは現在この機能に対応していません。ただし、iOS 上のモバイルブラウザからこの機能にアクセスすることは可能です。

Variance Waterfall (分散ウォーターフォール グラフ)

Variance Waterfall は Visualization bundle 内の新しいチャートであり、軸の異なる値に示される 2 つのメジャー間の分散分析を供給します。この種類のチャートは、通常は財務の実際と予測の分析で使用されます。求められるものが高度なこのチャートの種類では、より堅牢な財務グラフ作成オプションを提供し、財務分析での重大なギャップを埋めます。

円グラフのスタイル指定

このリリースの特色として、棒グラフと同じ方法を使用する、円グラフ用の新しいスタイル指定オプションがあります。これらには円グラフの枠線の幅、色、角の半径、および内径を調整する機能があり、チャートのスタイル、外観、および印象を改善するさまざまなオプションが備えられています。これによって、顧客が QlikView から Qlik Sense に移動し、マッシュアップと拡張機能の開発に対する必要性を軽減することができます。

1.3 Qlik Sense Mobile

Web@work を使用する MobileIron への対応

Web@work、Safari、および Chrome の各ブラウザを使用する MobileIron 環境で Qlik Sense を使用できるようになり、安全な MDM 環境内へのアクセスが拡大されています。

iPadOS への対応

Qlik Sense Mobile が新しい iPadOS に対応するようになりました。



iPadOS への対応は、iPadOS リリースのタイミングで行われます。

1.4 Qlik Connectors

Salesforce connector

すべての Qlik Sense 版で Salesforce connector が使用可能になりました。

- Qlik Sense Business、Cloud Services 上での Qlik Sense Enterprise、および Kubernetes 上での Qlik Sense Enterprise に追加されています。
- 常に最新の API の変更に対応してアップデートされている SFDC コネクタ。

Snowflake 接続

Qlik Sense Cloud Business 以外のすべての Qlik Sense 版および展開オプションに統合されている Snowflake 接続。

1 Qlik Sense June 2019 の新機能

1.5 高度なオーサリング

クリップボードへの値のコピー

Qlik Sense June 2019 では、値をテーブルからクリップボードにコピーできるようになりました。この改善によって、Qlik Sense アプリケーションから値を再使用する場合に手順がいくつか少なくなり、生産性が向上します。

モバイルデバイス上のグリッドレイアウト

Qlik Sense アプリの開発者は、タブレットや携帯電話などの小さい画面上で、シートのレイアウトをレンダリングすることを選択できるようになりました。リストビューは既定のオプションのままであり、ビジュアライゼーションのタイトルのみが表示されます。新しいグリッドビューには、ビジュアライゼーションの小さなプレビューが表示され、空白の分量が少なくなっています。これによって柔軟性が増したため、開発者はモバイル用に設計されたアプリをどのように表示するか、制御できるようになりました。

[小さい画面用のレイアウトの変更](#)

ネイティブ コンテナ オブジェクト

コンテナ オブジェクト エクステンションは、最初は **Dashboard Bundle** の一部としてリリースされ、Qlik Sense アプリケーション シートのスペースに柔軟性が加わり、好評を博していました。Qlik Sense June 2019 リリースでは、ネイティブ コンテナ オブジェクトの初めてのリリースを行っており、エクステンションの既存の機能も含まれていますが、その他のオーサリング アクションを行うすくれた統合機能が加わっています。このネイティブ コンテナ オブジェクトの最初のリリースは Qlik NPrinting には対応していませんが、今後のリリースで対応するよう計画しています。

ネイティブ コンテナ オブジェクトのリリースでは、既存のエクステンション オブジェクトを使用する現在のアプリケーションも、引き続き以前と同様に機能しますが、**Dashboard Bundle** で使用できる2つのコンテナ オブジェクト エクステンションは、アプリケーションの新しいオブジェクト オプションとしてはリストから外されています。

1.6 ビジュアライゼーションとマッピング

Visualization Bundle の新しいチャート

- **Trellis container**
マスター ビジュアライゼーションのスマール マルチプルを作成します。複数の軸での動向を示すための大きなチャートです。
- **利益と損失ピボットチャート**
損益計算書などの財務報告を簡単に作成するために、カスタマイズ オプションを備えたピボットテーブル。

棒グラフの改善

- 積み上げ棒にラベルを付けました。
- 積み上げ棒に関するツール ヒントが改善され、正負の合計が表示されるようになりました。

- 棒がメジャーの範囲外に出ている場合、積み上げ棒の棒もカットします。
- メジャーのみがあり、軸のないチャートを作成できます。
- 棒の数に関するスタイル設定オプション: 自動、すべて、固定数。
- ストロークの色と幅、および棒の幅に関するスタイル設定オプション。
- 連続軸だけでなく、すべてのスケールのミニチャートを切り替えます。

マップの [探索] メニュー

[探索] メニューで、レイヤーとラベルの切り替え、オブジェクトサイズの調整を行い、ベースマップ画像、マップの言語、凡例、およびズーム設定を変更することもできます。

1.7 Qlik Sense Mobile

Qlik Sense Mobile への通知のプッシュ

June リリースでは、iOS および Android 向けの Qlik Sense Mobile で、ネイティブ モバイル プッシュ通知に対応しています。管理者は、Qlik Management Console からユーザーにシステム通知をプッシュできます。通知はすべてのユーザーまたはユーザーの特定のサブセットに送信可能であり、ダッシュボードへのリンクを含めることができます。システム通知は、ダッシュボードに対する更新をユーザーに通知したり、システム イベントを知らせたりする場合に役立ちます。

システム通知およびシステム通知ポリシーの機能は、署名付きキーでライセンスが付与された Qlik Sense Enterprise on Windows インストールでのみ使用できます。

[システム通知の管理](#)

[システム通知ポリシーの管理](#)

1.8 Multi-Cloud

Qlik Sense Enterprise on Cloud Services (SaaS) および Qlik Sense Enterprise on Kubernetes 展開で、以下の機能が使用可能になっています。

- インサイトアドバイザーの参照元機械学習。
- アクセス制御のための IdP グループの使用
- Teradata コネクタ
- 単一のビジュアライゼーションをデータとして Excel にダウンロード
- Qlik Sense Enterprise on Kubernetes での RedHat Openshift への対応。この機能は Qlik Sense Enterprise on Cloud Services では使用できません

1.9 Qlik Connectors

- Windows での single sign-on (SSO) 対応

1 Qlik Sense April 2019 の新機能

1.10 拡張知能

Associative Insights

データに隠れている事実を明らかにする強力な拡張知能 (AI) 洞察を提供します。この機能は、Qlik cognitive engine と Qlik associative engine の連携動作によって実現されます。

Associative Insights によりユーザーは、選択されていないデータ内にある値の意義を発見し、理解することができます。選択ツール内で Associative Insights を探します。

1.11 ビジュアライゼーションとマッピング

棒・面グラフとブレットチャートを Visualization Bundle に、またカスタマイズ性を高める既定のマッピング背景を設定する新機能を導入しました。

マップの拡張機能

すべての新しいマップチャートで規定のマッピング背景を設定することが可能になりました。背景のカスタマイズ性が高められており、ユーザーは、Qlik の標準背景を使用する代わりに、事前定義された独自の背景を選択して設定できるようになっています。この機能により、政治的に緊張した国境沿いの紛争地域など、地理的な考慮点をより適切に処理することができます。

さらに、次の強化機能がマッピングに追加されています。

- ラベルに新しい線を加える機能。背景マップでのラベルの外観も改善 (Qlik GeoAnalytics にも追加)。
- マップポイントレイヤーの新しいサイズの凡例。
- マップ背景レイヤーへの画像挿入機能。これは、製図や平面図などのシンプルな画像の場合に適しています。

Visualization Bundle

Visualization Bundle の 2 つの新しいチャート

- 棒・面グラフ: 積み上げ棒に移行効果、コネクタ、ラベルが付加された棒グラフ。
- ブレットチャート: 目標に向けた追跡、目標値の表示、または実際の良/不良/平均バンドの表示に理想的な棒グラフ。

1.12 Multi-Cloud

Qlik Sense April 2019 では、Qlik のホストクラウド上で Qlik Sense アプリを全体的に作成、ロード、消費することができる、Qlik Sense Enterprise (QSE) 用のスタンドアロン SaaS 展開オプションが導入されました。このリリースでは、テーマとエクステンションを追加、更新、削除する場合の Qlik Sense Enterprise on Windows と Qlik Sense

Contents

Enterprise on Kubernetes の間のパリティも有効になっています。Qlik Sense April 2019 では、Qlik Cloud Services (SaaS)、Kubernetes、Windows などの Qlik Sense Enterprise のすべての展開オプションを個別に、また Multi-Cloud 展開の一部として一緒に使用することができます。

Qlik Cloud Services (SaaS) および Kubernetes に展開された Qlik Sense Enterprise では、次の機能が使用可能になっています。

- アプリの追加
- データソースへの接続
- 保存/QVD の使用/ファイル
- アプリのロードのスケジュール
- アプリのチーム共同開発
- 個人スペースと共有スペース
- ロールベースのアクセス制御
- シート/ブックマークの共有
[シート、ブックマーク、ストーリーへのアクセス権の付与](#)
- アプリのアップロード/エクスポート
- 管理用のコンソール
[管理 コンソール](#)
- ライセンス統合
- バンドル エクステンション
- カスタム エクステンション (Qlik Sense Enterprise on Kubernetes 上のみ)
- マッシュアップ (Qlik Sense Enterprise on Kubernetes 上のみ)
- ODAG
- API (ロードのみ)
- 使用状況監査
[イベント](#)
- QlikView ドキュメントへのリンク (Qlik Cloud Services と Qlik Sense Enterprise on Kubernetes の両方で使用可能)

1.13 Qlik Sense Mobile

Qlik Sense Mobile for BlackBerry

Qlik Sense Mobile for BlackBerry は、BlackBerry Dynamics EMM プラットフォーム向けに作成された新しい Qlik Sense Mobile アプリケーションで、BYOD (所有デバイスの持ち込み) 環境向けの高度な管理とセキュリティに対応しています。これにより BlackBerry Dynamics EMM ユーザーは、SSO や保管データ暗号化などのエンドツーエンドの安全な通信による一元管理モバイル アプリ内の Qlik Sense にアクセスできます。Qlik Sense Mobile for BlackBerry により管理者は、具体的なポリシーを設定し、アプリ配布を管理することにより、組織全体の Qlik Sense Mobile 展開を制御することができます。

[BlackBerry 向け Qlik Sense Mobile](#)

1.14 Qlik Connectors

- Qlik Cloud Services および Multi-Cloud 環境での ODBC ドライバによる SaaS 環境で、エンタープライズ データソースに対応します。
- エンタープライズ SaaS のスケジュール ベース ロードによる拡張された接続ロード機能。

1 Qlik Sense February 2019 の新機能

1.15 操作性の改善

単ページ アプリケーション フロー

Qlik Senseに、単ページ アプリケーション フローが表示されるようになりました。ページをリロードしなくても、データ、分析、ストーリーのスペース間を移動できます。これによりエンドユーザーや開発者は、自然な流れでページ内を移動し、少ないクリック数で素早くインサイトにたどり着けます。

1.16 高度なオーサリング

ドル記号展開プレビュー

数式エディタでは、ドル記号展開を使用して計算結果を評価できるようになりました。変数を使用する開発者は、数式全体のコンテキストにおける変数の役割を確認できます。これにより、ネストされた数式に誤った構文が入り込む可能性を低減しています。

Targets.WebHelpOnly">[数式エディタ](#)

1.17 ビジュアライゼーションとマッピング

Visualization Bundle

Visualization bundle は、次のチャートを含む新しいチャートセットです。

- ファネル チャート: 各段階でのメジャーの進行状況を表示します。
- サンキー グラフ: メジャーをフローとして表示し、1つ以上の段階においてメジャーがどのように異なるカテゴリに分割されるかを示します。
- レーダー チャート: 軸用と領域用の2本のカテゴリ軸を使用して、ポーラー チャートにメジャー分散を表示します。
- ヒートマップ グラフ: 2本の軸と1つのメジャーでカラー値のマトリックスを表示します。
- マルチ KPI: 標準 KPI オブジェクトよりもオプションとカスタマイズの数が多いメジャーを表示します。
- ワードクラウド グラフ: テキスト軸で最も多い出現文字列をハイライトします。
- ネットワーク グラフ: ノードと親の軸およびリンク値のメジャーでグラフをビジュアライゼーションします。

Dashboard Bundle

既存のバンドルに拡張が1つ追加されました:

- [共有] ボタン: 現在のシートおよび選択との共有可能なアプリリンクを作成します。

マップ背景レイヤーでの WMS への対応

マップチャートでは、サードパーティの WMS サーバーを背景レイヤーとして使用できるようになりました。WMS 背景レイヤーはウィザードインターフェースを介して追加され、WMS 背景を容易に設定できます。

[マップ](#)

1.18 Qlik Sense Mobile

- Qlik Sense Mobile アプリは、Android OS が実行されているデバイスで使用し、Qlik Sense 個のアプリをオンラインで消費できるようになりました。
- Qlik Sense 個のマッシュアップを Qlik Sense Mobile アプリを使用して開き、消費できるようになりました。
- Microsoft Intune EMM ソリューションは、モバイル デバイスからの Qlik Sense Enterprise へのアクセスに対応するようになりました。

1.19 Qlik Connectors

統合 Single Sign On (SSO) 対応

Qlik ODBC Connector Package の 3 つのドライバが、ベータレベルの single sign-on (SSO) (MS SQL Server、Apache Hive および Cloudera Impala) に対応するようになりました。

1 Qlik Sense November 2018 の新機能

1.1 拡張知能の強化点

参照元機械学習

Qlik Sense November 2018 を公開します。参照元/適用学習機能を装備した機械学習を発表いたします。この機械学習では、ユーザーによる製品の対話操作から得られる情報を利用してコグニティブ エンジンに入力し、より優れたインサイトと結果を導き出します。

インサイト アドバイザー ライト オーサリング

ユーザーは、インサイト アドバイザーを使用してライト オーサリングを実行できるようになりました。この機能では、コグニティブ エンジンが推奨するビジュアライゼーションと分析をユーザーが変更することができ、インサイトの探索時における柔軟性と制御が向上します。

1.2 最新のオーサリング機能

代替ステート

これまで API 呼び出し経由でなければ利用できなかった代替ステート機能を公開しました。代替ステートにより、既定の選択ステート以外のステートに基づいて比較分析を行うためのビジュアライゼーションを作成できます。代替ステートは新しいタイプのマスター アイテムです。代替ステートは、作成すると、[スタイル] の下にある新しい代替ステート オプションを使用して、シートまたはビジュアライゼーション オブジェクトに適用できます。この機能を使用して、同じ軸について異なる選択をし、選択内容を単一のビジュアライゼーションで比較したり、2 つ以上のビジュアライゼーションを横に並べて比較したりすることができます。代替ステートは、set 分析を使用して数式に設定することもできます。これにより、複雑な比較分析が可能となります。

公開 set 分析

この機能により、開発者は正しい set 分析構文で簡単に数式を作成できます。

set 数式の改善点

数式エディタダイアログにおける set 数式が改善されました。

項目内単一選択

この機能は、単一選択が分析フローを変更するガイド型 アナリティクス ユース ケースをサポートします。Qlik Sense の新しい項目設定により、開発者は特定の項目に対して「1 つの値を常に選択」を有効にすることができます。1 つの値を常に選択する機能は、数式の条件、ローカライズ要件、およびその他のガイド型 アナリティクス ユース ケースをより的確に制御する必要のあるアプリケーションで使用できます。

Dashboard Extension bundle (ダッシュボード拡張バンドル) の完全サポート [#1]

Qlik Sense November 2018 は、拡張バンドルを導入しました。この Dashboard Extension bundle (ダッシュボード拡張バンドル) は、Qlik Sense とともにインストールでき、Qlik が完全にサポートしています。ユーザーは、このバンドルオプションを停止することもできます。このバンドルに含まれるオブジェクトは、Qlik Branch でよく利用される拡張機能としてこれまでに利用可能だったものです。現在は Qlik サービスの一部として提供され、Qlik はバージョンアップグレード時にこれらオブジェクトの品質とパフォーマンスを維持、保証しています。これらの拡張オブジェクトはフル機能版ですが、アクセス性、マルチ言語、RTL など、他の製品標準は維持していません。

Dashboard bundle (ダッシュボードバンドル) には以下が含まれます。

- **Date range picker (日付範囲ピッカー):** 日付および日付範囲をすばやく簡単に選択できます。
- **Navigation button (ナビゲーションボタン):** シート、ストーリー、Web サイトにすばやく移動することができます。選択や変数設定などの操作も実行できます。
- **On-Demand reporting (On-Demand レポート):** アプリ内部から Qlik NPrinting レポートの生成ができるようになりました。
- **Tabbed container (タブ付きコンテナ):** ビジュアライゼーション間をタブで切り替えることができます。
- **Show/hide container (コンテナの表示/非表示):** タブ付きコンテナと同様ですが、表示条件を設定できます。
- **Variable input (変数入力):** ユーザーは、ボタン、ドロップダウン、スライダー、入力ボックスを使用して値を設定できます。

[Dashboard bundle](#) (ダッシュボードバンドル)

1.3 コラボレーションの新しい方法

共有可能な Qlik Sense チャートリンク

カスタム選択状態を使用してチャートリンクを共有できるようになりました。これにより、初期段階のインサイトを共有し、さらなる分析をすばやく収集することができます。

この機能は現在、Qlik Cloud Services およびエラスティック展開向け Qlik Sense Enterprise でのみ利用できます。

1.4 ビジュアライゼーションおよびマッピングの強化点

新しいマッピング チャートレイヤー

マップの上に円グラフまたは棒グラフを表示するマップチャートレイヤーが導入され、複数種類の値の分布を表現できるようになりました。

円グラフの改善

円グラフが2つめのメジャーに対応し、外半径に複数の値を表示できるようになりました。このビジュアライゼーションは、ローズグラフとしても知られています。

アウトラインの不透明度設定

アウトラインの不透明度設定が、特に小さな要素が見やすくなるよう、スライダーで適用できるようになりました。

タイル マッピング サービスの強化点

マッピング チャート背景レイヤーにより、Bing 地図などのタイル マップ サービスがサポートされるようになりました。

1.5 管理の改善

インポート エクスポート アプリの改善

インポート エクスポート アプリが強化され、QMC との間で、データありおよびデータなしの状態 でアプリをインポート およびエクスポート できるようになりました。

マルチクラウド開発

Qlik のマルチクラウド機能により、自己署名 JSON Web トークン (JWT) を使用する構成オプションが簡素化されました。これにより、IdP の特定の機能がなくてもコンポーネントを接続できるようになりました。さらに、Qlik Cloud Services は ID プロバイダーとしての ADFS と統合可能になっており、Active Directory インフラストラクチャを利用する顧客はユーザーを認証することができます。

1.6 アクセシビリティ

リストボックス、キーボードナビゲーション、およびリストボックス アクセスのためのスクリーンリーダー機能にアクセスできます。

2 Qlik Sense September 2018 の新機能

2.1 拡張知能

インサイトアドバイザー

インサイトアドバイザーは、公開済みアプリの使用者を含めて、Qlik Sense アプリのすべてのユーザーまで拡張されました。ユーザーは、マスター アイテムに関して洞察を検索して生成できます。

2.2 高度なオーサリング

シート制御に対する改善点

- タッチ入力およびマウス入力イベントに対応するデバイスを使用するときに、Qlik Sense での制御が改善されました。
- アプリ開発者はアプリに既定のブックマークを設定できます。アプリを開くと、この選択が適用されます。

アプリのカスタマイズ

アプリ開発者はシートの応答性が高いレイアウトを無効にして、カスタム サイズをピクセル単位で設定できます。ダッシュボードは、作成したとおりにユーザーに示されます。この機能は、モバイル デバイス モードには対応していません。

数式エディタの強化

- 数式関数からQlik Sense ヘルプ ページへのダイレクトリンクが提供されるようになりました。
- 改善された関数の分類。
- 検索の改善によって、項目名、関数、および変数を検索しやすくなりました。

ビジュアライゼーションでの制御の向上

- ピボットテーブルで、方程式に基づいて列の表示/非表示を切り替えることができます。
- マスター メジャー アイテムを、カラー スケールまたはカラー グラデーションを使用してカスタマイズできます。これはカスタム カラー表現の便利な代替手段です。

2.3 ビジュアライゼーションとマッピング

新しいマップ レイヤー

密度レイヤーは、マルチカラー グラデーション マップの背景です。ここでは、カラー密度はポイントの重みと近さに応じて決まります。このレイヤーは、例えば地域レベルでの犯罪統計および住宅価値などのデータをマッピングする場合に便利です。

マップの改善点

- 密度の高いマップを参照するときに、パフォーマンスを最適化するための適応型ピクセルズームとパン。
- 追加されたレイヤーの既定の色。新しい各レイヤーに、パレットから選択された独立した色が含まれています。
- 地理的な境界線データが含まれた KML ファイルをダウンロードして、レンダリングできるようになりました。
- サイズと幅の項目ラベルで、凡例とポップアップを読み取りやすくすることができます。

2.4 管理

バックエンドワークフローに対する改善点

複数のアプリを QMC のストリーム間で移動できます。これは Qlik Sense Enterprise April 2018 でリリースされた機能に構築されており、ここでは単一アプリをストリーム間で移動することができます。

オープンソースのフロントエンドフレームワークがバージョン 1.6.9 にアップグレードされ、安定性と互換性が向上しています。

2.5 モバイル

Qlik Sense Enterprise へのアクセスが、Safari、Chrome、または VMware ブラウザを使用して AirWatch EMM (Enterprise Mobile Management) 環境でサポートされるようになりました。

2.6 Qlik コネクター

弊社では接続オプションの拡張を続けています。

- MS Azure QSL DB に追加されたネイティブ接続には、テストおよび対応済みの整合性が備えられています。
- JIRA コネクターがベータから GA にリリースされています。

[JIRA](#)

- LDAP 認証の強化されたセキュリティ。Qlik ODBC コネクターに組み込まれています。これによって、カスタマーエクスペリエンスが改善され、評価のための時間も短縮されて、業界で認められた暗号化および認証の標準が備えられています。

3 Qlik Sense June 2018 の新機能

3.1 作成、探索、コラボレーション

インサイトアドバイザー

インサイトアドバイザーは、ユーザーが検討や探索に使用する上で最も関連するインサイトとビジュアライゼーションを提案するAI機能です。インサイトアドバイザーは、Qlik独自のアルゴリズムに基づいて関連するインサイトと分析を自動生成および優先順位付けするQlik cognitive engineを使用しています。アプリの作成者は、インサイトアドバイザーを使用することで、Qlik Senseにロードしたデータ内でインサイトを探索し、これらのインサイトをデータセット全体、データ内の軸、または特定の領域を対象とするための検索条件に対して評価できます。インサイトはコンテキスト認識型であり、Qlikの連想エンジンと連携して動作します。

セルフサービスの促進

- 代替のチャートの提案:Qlik コグニティブ エンジンがプロパティパネルで、最初の推奨を補完する代替のチャートを提供するようになりました。
- 軸とメジャーの切り替え:簡単なドラッグアンドドロップを使用し、プロパティパネルで軸とメジャーを切り替えることができるようになりました。
- プロパティパネルでドロップダウンメニューを使用して、一般的な集計方法から別の一般的な集計方法にすばやく変更できるようになりました。

高度なオーサリング

- Qlik Sense シートを垂直方向に拡張してスクロール可能なモードにできるようになりました。
- 既存のオブジェクトのシートで、グリッドサイズを変更できるようになりました。

数式エディタの新機能

Qlik Sense 数式エディタの操作性が向上しました。

- **項目**:項目データに基づいて統計集計関数を作成します。2つのチェックボックスを使用し、統計集計関数に**Distinct**節と**Total**節を個別に挿入できます。
- **関数**:この制御を使用して数式に一般的なQlik Sense関数を入力します。
- **変数**:この制御を使用して数式に変数を挿入します。変数を選択すると、変数の定義および変数値のプレビューが表示されます。

ファイルのデータのフィルタリング

Qlik Sense June 2018では、ファイル内の項目コンテンツのフィルタリング条件を作成できます。データマネージャーにデータをロードすると、これらのフィルターがスクリプトに自動的に適用されます。

ビジュアライゼーションとマッピング

- 複数レイヤーのマップチャートでラインレイヤーを使用できるようになりました。
- 数式条件を使用して、ストレートテーブルで特定の列を表示および非表示にできるようになりました。
- 折れ線グラフ、棒グラフ、およびコンボチャートで、スクロールに使用するミニグラフをオフにできるようになりました。

ハブでのアプリ管理の改善

Qlik Sense June 2018 では、ハブからアプリを管理するための新機能と機能向上が提供されています。

- 既に公開しているアプリをハブから再公開できるようになりました。まず、公開済みアプリの複製を作成して変更してから、同じストリームに公開済みアプリとして再公開します。アプリ名に基づいてシステムからストリームが自動的に選択されます。
- 公開済みアプリ専用の新しいセクションがハブに追加されました。このセクションで引き続き、アプリの複製を作成してから、新規のハブからのアプリの再公開機能を使用して変更をユーザーに公開できます。
- アプリの所有者は、公開済みアプリのコミュニティシートを承認して、ベースシートのリストに追加できるようになりました。アプリの所有者は、[コミュニティ] セクションでベースシートを未承認にすることもできます。

アクセス性

Qlik Sense のアクセス性をさらに改善するために、次の機能が実装されています。

- スクリーンリーダー タグ
- テーブルでのキーボードナビゲーション
- 値の確認および選択のための、チャートからテーブルへの切り替え

Qlik ヘルプ サイトへのアクセス

Qlik ヘルプ サイト help.qlik.com 全体で、次のアクセス性の改善が実装されています。

- ユーザーはキーボードキーとショートカットを使用してヘルプサイトをナビゲートおよび操作できるようになりました。
- UI 要素、テキスト、検索、および画像がズーム、サイズ変更、および拡大表示に対応しています。
- テキスト、アイコン、および画像がコントラストと読みやすさの面でアクセス性標準に準拠しています。

3.2 展開および管理

マルチクラウド

Qlik Sense June 2018 では、Qlik Sense Enterprise on Windows で開発されたアプリを Qlik Cloud Services およびエラスティック展開向け Qlik Sense Enterprise に配布できます。アプリは新しいクラウドハブで使用されます。Qlik Sense Enterprise on Windows とクラウド環境は、1つのライセンスを使用してシングルサインオンで管理します。

適切なライセンスおよび詳細情報については、Qlik の担当者または Qlik サポートまでご連絡ください。

3.3 モバイル

BlackBerry Access ブラウザーに対応

Qlik Sense June 2018 により、Qlik Sense にアクセスして、BlackBerry Access ブラウザを使用するモバイルデバイスでアプリを使用できるようになりました。ユーザーへの BlackBerry Dynamics 展開を管理者が既にセットアップしてあることが条件となります。セットアップ方法および BlackBerry Access を使用して Qlik Sense に接続する方法については、サポート記事「[Connecting to Qlik Sense using BlackBerry Access](#)」(BlackBerry Access を使用した Qlik Sense への接続) を参照してください。

3.4 Qlik Connectors

Qlik Sense June 2018 では、5 つの新しいコネクターが ODBC コネクター パッケージに追加されました。以下に示すコネクターはすべて、OpenSSL の最新バージョンに更新されています。

- **Presto:** PrestoDB Connector では、Presto で構成された環境内のすべてのデータソースをクエリする接続を作成できます。

次のコネクターをベータ版で使用できます。

- **Apache Drill:** Apache Drill Connector を使用すると、非リレーショナルデータストアにアクセスできます。
- **Apache Phoenix:** Apache Phoenix Connector を使用すると、リレーショナルデータストアにアクセスできます。
- **Apache Spark:** Apache Spark Connector は、Apache Hadoop/Spark 配布への SQL および HiveQL の直接アクセスに使用します。
- **MongoDB:** MongoDB Connector を使用すると、NoSQL データベースプログラムである MongoDB にアクセスできます。

4 Qlik Sense April 2018 の新機能

4.1 作成、探索、コラボレーション

Qlik Sense チャート提案によるデータ ビジュアライゼーションの支援

Qlik Sense チャート提案を使用すると、項目をシートにドラッグ アンド ドロップできるため、ビジュアライゼーションの作成が容易になります。チャート提案は、ロードされたデータのインサイトを活かし、データ ビジュアライゼーションのためにインサイトをベストプラクティスと組み合わせる、Qlik のCognitive Engine を使用して作成されます。

ハブからのアプリの公開

Qlik Sense April 2018 では、作成したアプリを公開 アクセス権のある任意のストリームに公開できます。アプリをストリームに既に公開している場合、公開する権限のあるストリーム間でアプリを移動できます。

ユーザーからのフィードバックに基づいた改善

Qlik Sense April 2018 では、ユーザーからのフィードバックに基づいて多数の改善が取り入れられています。

- アプリシートのグリッドサイズを小、中、大の3つの異なるサイズでカスタマイズできるようになりました。
- カスタムの省略形をロードスクリプトに設定できるようになりました。例えば、G ではなく10億を使用するように選択できます。
- リンクされたビジュアライゼーションの [編集] ボタンをクリックすると、新しいショートカットによってマスター ビジュアライゼーション アイテムの編集にリダイレクトされます。
- 選択を進む/戻るための新しいキーボードショートカットが追加されました。

マップ ビジュアライゼーションの改善

Qlik Sense April 2018 では、組み込みのマップ ビジュアライゼーションが大幅に改善されています。

- 複数レイヤーの対応。
- ポイントレイヤーおよびエリアレイヤーのラベル。
- 国、地域、都市、郵便番号エリアのすばやい検索。
- 固定の高いオブジェクト上限数。
- 距離 メジャーによる円の選択。
- ドリルダウンの対応。
- レイヤー制御、ズーム制限、描画順序。
- 背景マップでの英語またはローカル名の使用。

Qlik Sense ハブでのキーボード ナavigーションの対応

アクセス性を改善するために、Qlik Sense ハブでキーボード ナavigーションとショートカットに対応するようになりました。

サードパーティ製 アプリケーションへの Qlik Sense Mobile のリンク

Qlik Sense Mobile で、カスタム生成の URL (ディープリンク) を使用してサードパーティ製 モバイル アプリケーションを操作できるようになりました。適切な選択およびフィルターを使用し、サードパーティ製 モバイル アプリケーションにリンクを組み込むことができます。リンクをクリックすると、元の表示で適用されたフィルターおよび選択を使用して

Qlik Sense Mobile でアプリが開きます。そのため、アプリの操作時にユーザー エクスペリエンスが向上し、コンテキストが提供されます。

4.2 実装

展開の改善

Qlik Sense April 2018 以降は、ポート 4244 を認証ポートとして使用する必要がなくなりました。SSL を使用して環境を保護する場合、ポート 443 を Qlik Sense プロキシ サービス (QPS) の外部向けポートとして使用できます。

Qlik Sense Mobile のアプリ毎 VPN モード

Qlik Sense Mobile は現在、適切な VMware Workspace ONE トンネル コンポーネントによってアプリ毎 VPN モードで動作します。これは、企業のファイアウォールの背後で展開された Qlik Sense Mobile と Qlik Sense Enterprise 間のネットワークトラフィックを保護するのに役立ちます。この追加により、デバイスのネットワークトラフィックを VPN 経由でルーティングする必要がなくなりました。Qlik Sense Mobile アプリのみが VPN 経由でルーティングされて VPN サーバー上の負荷が軽減されます。

4.3 管理

新しいライセンス タイプの割り当て

Professional と Analyzer の新しいライセンス タイプの対応とともに Qlik Sense を購入したユーザーは、これらのライセンスの割り当てを QMC で構成できるようになりました。

分析接続の改善

Qlik Sense April 2018 では、分析接続が機能するために必要となるサービスを追加で再起動せずに、Qlik Sense Enterprise の管理者が分析接続を追加、削除、および再構成できるようになりました。また、管理者は、分析接続の機能に影響を及ぼさずに、サービスを停止および起動できるようになりました。Qlik Sense Desktop の上級ユーザーは、分析接続を実装する SSE サーバーが Qlik associative engine の後で起動される場合でも、分析接続を開発して使用することもできます。

匿名ユーザーによるデータのエクスポート

Qlik Sense April 2018 以降では、匿名ユーザーがデータを印刷およびエクスポートできます。

5 Qlik Sense February 2018 の新機能

5.1 作成、探索、コラボレーション

スクリプト内の Web ソースに対する動的に生成されたクエリ

データロードスクリプトで **webfile** コネクタを使用してデータを取得する前に、URL を動的に生成できるようになりました。これにより、Web にホストされるファイルへのクエリに新たな可能性が開かれました。

[Web リソースからのファイルのロード](#)

分析接続からのテーブルのロード

ロード の新しい **拡張機能** 節を使用して、データロードスクリプトからの分析接続に対する単一リクエストでテーブル全体を返せるようになりました。これにより、データのレポート時に分析接続からデータをロードする場合のパフォーマンスが大幅に改善されています。

[ロード](#)

推奨の関連付けによるデータ作成の簡素化

推奨の関連付けを使用して、テーブル間における可能な関連付けを把握できるようになりました。これにより、データモデルに変更を加える前の試験が効率化されます。

[データ関連付けの管理](#)

カスタム テーマによるアプリのスタイル設定

カスタム テーマを使用して、グローバル ベースまたは詳細ベースでアプリにスタイルを適用できるようになりました。

- 背景および各チャート要素の色を変更。
- カラーパレットおよびカラーグラデーションを定義。
- フォントサイズおよびフォントカラーの指定。

[アプリのスタイル設定](#)

On-demand アプリの生成

匿名利用をサポートする On-demand アプリの生成 (ODAG) ソリューションを作成できるようになりました。これにより、Web サイトや OEM シナリオに対応する外部向け機能が加わります。

[On-Demand アプリによるビッグデータの管理](#)

Qlik Sense Mobile

Qlik Sense Mobile を自身の iPhone で使用できるようになりました。このアプリは完全な QIX engine を採用し、Qlik が特許を取得した連想技術を、オンライン、オフラインの両方で、サポートするすべての Apple モバイルデバイスに提供します。

[Qlik Sense Mobile アプリ](#)

ODBC コネクタの更新

Qlik ODBC Connector Package には更新された以下のコネクタが含まれます。

- Oracle

[Oracle](#)

- PostgreSQL

[PostgreSQL](#)

5.2 展開、管理

SSO と Microsoft SQL Server

多くの異なるユーザー間で共有できる、Microsoft SQL Server への単一接続を作成できるようになりました。各ユーザーは、データベースセキュリティルールによって定義されている SQL Server のテーブルと値のみ表示できます。

[Microsoft SQL Server \(MS SQL Server\) へのシングルサインオン \(SSO\) の構成](#)

6 Qlik Sense November 2017 の新機能

6.1 作成、探索、コラボレーション

Qlik Sense アプリでのキーボードナビゲーション

Qlik Sense アプリでキーボードを使用してナビゲーションを行うことができるようになりました。キーボードナビゲーションはアプリ概要ページ内とQlik Sense のツールバー内の両方に対応しています。

[Qlik Sense のキーボードナビゲーションとショートカット](#)

データ マネージャーの [詳細] ダイアログ

[詳細] ダイアログを使用して、テーブルと項目で行われる操作と変換を表示できるようになりました。

[詳細] に、選択したテーブルまたは項目に対して行った現在の操作と変換が、生成されたデータロードスクリプト内で適用される順序で表示されます。ここで、テーブルまたは項目のソース、行った現在の変更、変更が適用された順序を容易に確認できます。

[データ マネージャーでのテーブルおよび項目の変換の詳細の表示](#)

手動でのデータの追加

データ マネージャーの [データの追加] に手動でデータを入力できるようになりました。[データの追加] の [手動入力] を使用すると、データをテーブル エディタに入力し、データ マネージャーのテーブルとして追加することができます。

[Qlik Sense でのデータの手動追加](#)

計算された項目のための追加機能

データ マネージャーで計算された項目を作成するとき、追加の機能が利用できるようになりました。

[計算された項目の使用](#)

新しい ODBC コネクタ

Qlik ODBC Connector Package には、Amazon Redshift と Google BigQuery の新しい 2 つのコネクタが含まれています。

6.2 展開、管理

SAML single logout

SAML single sign-on (SSO) を使用した場合、複数の Web サイトにアクセスするのに必要なのは 1 回のログインのみです。ここでは、1 回以上のセッションが正しく終了しない危険性があります。SAML single logout を使用することでこの危険性を排除できます。

7 Qlik Sense September 2017 の新機能

7.1 作成、探索、コラボレーション

データ マネージャーでの順次操作

データ マネージャーの改善によって、テーブルと項目に順次変換を実行できるようになりました。以前は、単一のデータプロファイリング カード変換を単一項目にしか適用できないなど、同時に実行できる変換は制限されていましたが、現在は、データプロファイリング カード、連結、計算された項目、およびデータのピボット解除を同時に使用できるようになりました。

[データ マネージャーによる、アプリでのデータの管理](#)

最近使った色の選択

Qlik Sense で最近選択された 5 つの色が、Qlik Sense の色の選択に表示されるようになりました。

データ マネージャーのナビゲーションと使い勝手の改善

データ マネージャーが強化され、[データの追加] ボタンの位置とスタイルの変更、およびデータがロードされていない時点でのアプリ概要ページの設計変更など、ユーザー エクスペリエンスが改善されました。

新しいビジュアライゼーション: ウォーターフォール グラフ

新しいウォーターフォール グラフを使用して、初期値に対して正と負の中間値がどのように影響するかを示すことが可能になりました。例えば、損益計算書にさまざまなアカウントの正と負の寄与率を示すことができます。

On-demand アプリの使い易さの向上

より多くの情報にアクセスして、生成された On-demand アプリを今まで以上に制御できるようになりました。ナビゲーション ポイントパネルに、個々の項目で選択された行数と制約、およびそれぞれの制約に関連する選択ステータスが表示されるようになりました。また、生成された On-demand アプリの命名を制御し、現在の選択条件に基づいて On-demand アプリをリロードし、再生成できるようになりました。On-demand アプリをコピーして再生成し、現在のステートを保持する一方で、新しい選択条件を使用したバージョンのアプリを作成することもできます。

7.2 展開、管理

Qlik Sense Mobile アプリ

Qlik Sense Mobile アプリで、サポート対象のモバイル デバイスから Qlik Sense Enterprise 展開に安全に接続することができます。Enterprise Mobile Management (EMM) ソフトウェアまたは Apple Developer Enterprise Program ツールのいずれかを使用して、Qlik Sense Mobile アプリを展開し、管理することができます。

サポート対象の iOS デバイスに新しい Qlik Sense Mobile アプリをダウンロードして、Qlik Sense Enterprise サーバーに接続することができます。Qlik Sense アプリをダウンロードすると、次からは、サーバーに接続していない状態でもそれらのアプリを表示できるようになります。

集中ロギング

共有持続性の導入により、すべてのノードから共通データベースおよびファイルシステムに直接アクセスできるようになりました。Qlik Logging Service は、すべてのメッセージを収集して PostgreSQL データベースに挿入することによって、ロギングを集中させます。この機能はオプションですが、デフォルトで有効になっています。

8 Qlik Sense June 2017 の新機能

8.1 作成、探索、コラボレーション

On-Demand アプリ

On-demand アプリを使用すると、非常に大量のデータ(いわゆるビッグ データ) をロードして分析することができます。On-demand アプリを使用することによりユーザーは、ビッグ データストアの集計ビューを表示し、データの関連サブセットを特定およびロードして詳細な分析を行うことができます。On-demand アプリを使用することによりユーザーは、ビッグ データストアの集計ビューを表示し、データの関連サブセットを特定およびロードして詳細な分析を行うことができます。On-demand アプリは、特別に設計された選択アプリおよびテンプレートアプリから作成されます。

[On-demand アプリによるビッグ データの管理](#)

新しいビジュアライゼーション

新しく追加された以下の種類のチャートを使用して、データの範囲と分布を視覚化できるようになりました。

ボックスプロットは数値データグループの範囲および分布の比較に適しています。データは、ひげ付きのボックスと、中間の中心線で視覚化されます。

分布プロットは数値データグループの範囲および分布の比較に適しています。データは軸に沿って値ポイントとしてプロットされます。

ヒストグラムは、連続した間隔または一定の期間における数値データの分布を視覚化するのに適しています。データはビンに分割されます。

[データ マネージャー] でのスクリプト化されたテーブルの同期

スクリプト化されたテーブルを [データ マネージャー] で同期できるようになったため、[データ マネージャー] で使用可能なツールをそのテーブルで使用できます。

[\[データ マネージャー\] でのスクリプト化されたテーブルの同期](#)

データプロファイリング カード

テーブル項目データの概要を表示して、データプロファイリング カードを使用してそのデータを [データ マネージャー] で変換できるようになりました。

[概要] カードでは、テーブルの項目内のデータの概要を表示することができます。また、**[概要]** カードでは、各種変換オプションを使用可能で、軸やメジャーとして項目のデータを表示するなど、考えられるさまざまなデータ解釈を表示することができます。

[置換] カードを使用すると、項目の1つ以上の値を選択して別の値に置換できます。

[NULL の設定] カードを使用すると、テーブル項目から値を選択して、NULL に手動で設定できます。

[順序] カードでは、軸項目の値にカスタム順序を適用することができます。

[分割] カードを使用すると、1つの項目の内容を複数の項目に分割できます。

[バケット] カードでは、メジャー項目データを範囲にグループ化し、指定したグループで新しい項目を作成することができます。

[データ マネージャー] での連結

[データ マネージャー] でテーブルを手動で連結できるようになりました。

色および軸

マスター軸に色を割り当てて、ビジュアライゼーション全体で同じ色を軸に使用できるようになりました。

軸の値に個別の色を割り当てることもできるようになったため、軸ごとに色分けする際に、個々の値がビジュアライゼーション全体で一貫して色分けされます。

8.2 管理

へのシングル サインオン接続 Cloudera Impala

Cloudera Impala への SSO 接続を設定できるようになりました。

Cloudera Impala への信頼できる接続を確立し、Qlik Sense 資格情報を使用した ODBC 接続を設定することにより、シングル サインオンを実現します。

新しい 3 つの監視 アプリ

展開サイズと、増大するログ履歴に対応してスケーリングし、Qlik Sense 監視に対する多大なニーズを満たすために、監視アプリを新しい 3 つの小型でより特化したアプリにリファクタリングしました。

分析接続

分析接続を使用してサーバー側の拡張を構成することにより、サードパーティエンジンの呼び出しがサポートされるように Qlik Sense 数式 ライブラリを拡張できます。

8.3 履歴

この PDF では、Qlik Sense の最初のリリース以降のすべてのニュースと更新を確認できます。

[Qlik Sense 1.0以降の新機能](#)

9 Qlik Sense 3.2 の新機能

9.1 作成、探索、コラボレーション

カレンダー メジャー

カレンダー メジャーを作成して、相対的な時間範囲におけるデータを分析できるようになりました。たとえば、カレンダー メジャーを使用して、年初から現在までの売上高をその前年における同時期の売上高と比較できます。

色とメジャー

メジャーに基づいてチャートの色を選択できます。また、全色パレットから色を1つ指定することもできます。

9.2 実装

共有持続性

共有持続性を使用してマルチ ノードサイトを展開できるようになりました。これは、複数のノードが複数のアプリケーション ファイルにおいて、単一のレポジトリデータベースと単一のネットワークフォルダーを共有することです。セントラル ノードレポジトリを共有するか、高可用性データベース クラスターをレポジトリデータベースとしてセットアップするかのいずれかが可能です。これにより、リロードなどの大量の変更を処理でき、同期による遅延が解消されます。

9.3 管理

デスクトップ認証

Qlik Sense Desktop ユーザーは、使用する Qlik Sense Enterprise サーバーに対して認証できるようになりました。Qlik Sense Enterprise 管理者は、Qlik Management Console で認証 リンクを設定し、そのリンクをユーザーに配布します。

 [Qlik Sense Desktop の起動](#)

 [Qlik Sense Desktop 認証の構成](#)

QlikView converter

QlikView converter では、QlikView のドキュメントの要素を Qlik Sense アプリのマスター アイテムに変換する際に伴う作業が簡素化されます。ビジュアライゼーション、数式、軸、および変数を変換に選択できます。このツールは、Dev Hub から入手できます。

10 Qlik Sense 3.1 の新機能

10.1 作成、探索、コラボレーション

データロード時の地域認識

認識された都市や国の名前を含んだデータをロードすると、地理情報 (ポイントや地域のポリゴン) が自動的に作成されます。これにより別個に地理情報をロードすることなく、データのマップ ビジュアライゼーションをすぐに作成できます。

スクロールの配置

データの最後でスタートするチャートのスクロール バーの位置を設定できるようになりました。

デフォルトのアプリのテーマ

デフォルトのアプリのテーマを変更できるようになりました。新しい Qlik - [Standard] テーマは、タイトルに指定されたスペースを提供し、オブジェクトの周りのパディングとスペースを調整します。デフォルトでは新しいアプリも既存のアプリも Qlik [Classic] テーマを使用しています。

色をドラッグ アンド ドロップする

ビジュアライゼーションでアセット パネルから項目、軸、またはメジャーをドラッグ アンド ドロップし、色を変更できます。

ナビゲーション

ハブのナビゲーション メニューの表示、非表示が選択できるようになりました。

検索 Qlik DataMarket

Qlik DataMarket には、DataMarket のパッケージ、カテゴリおよびデータセットで、用語やフレーズで検索ができる検索機能が追加されました。

Salesforce Connector は primary key chunking に対応

Qlik Salesforce Connector はデータが一括操作 モードでロードされる際に、primary key (PK) chunking に対応します。

データベース コネクターでデータにフィルターを適用する

Qlik Sense にインストールされている Qlik ODBC Connectors Package のデータベース コネクターは、データベース レコード内の特定のデータをフィルタリングすることでデータのサブセットの選択を可能にしました。

10.2 管理

Qlik Management Console

QMC でエンジン設定を使用できるようになりました。[リロード中に検索インデックスを作成] によりユーザーの最初の検索エクスペリエンスが向上しました。

11 Qlik Sense 3.0 の新機能

11.1 作成、探索、コラボレーション

Qlik Sense にインストールされた _Qlik コネクタ

以前は個別にインストールする必要があった Qlik コネクタが、Qlik Sense インストール時に、自動的にインストールされるようになりました。

- Qlik REST Connector 1.1 により、Qlik Sense は、REST データソースから Qlik Sense アプリにデータを効率よくロードすることができます。QlikREST Connector は汎用コネクタです。つまり、特定の REST データソース向けにカスタマイズされたものではありません。
- Qlik Salesforce Connector 14.0 により、Qlik Sense は、Salesforce.com データセットから Qlik Sense アプリにデータを効率よくロードすることができます。Salesforce.com データは、Salesforce.com アカウントとアクセスクリデンシャルを持つユーザーが利用できます。
- ODBC Connectors Package 1.1 に含まれる Qlik データベースコネクタにより、Qlik Sense は ODBC (Open Database Connectivity) ドライバを介して、データベースから Qlik Sense アプリにデータを効率よくロードすることができます。Qlik ODBC Connectors Package に含まれるデータコネクタのいずれかを使用している場合、事前に DSN 接続を作成してから ODBC データベースに接続する必要はなくなりました。

_データ マネージャーでのテーブルの関連付けの管理

データマネージャーの [関連付け] ビューのユーザーインターフェイスは新しく改善され、データモデル内のテーブルがバブルで表現されるようになりました。推奨案に従ってより容易にデータを関連付けることができます。

[データ関連付けの管理](#)

_へのシングルサインオン接続 SAP HANA

SAP HANA への SSO 接続を設定できるようになりました。

SAP HANA への信頼できる接続を確立し、Qlik Sense クリデンシャルを使った ODBC 接続を設定することにより、シングルサインオンを実現します。

_新しい Qlik DataMarket パッケージ

Qlik DataMarket には新しいプレミアムデータパッケージが組み込まれています。

- 主要な証券取引所からの株価の履歴
- 世界中の会社からの財務データ
- インドの州および地域の人口インジケータ
- カナダの州または地域別の人口

_Qlik DataMarket データセットの新しい複数テーブル構造

複数テーブル構造は、データをロードする効率を高め、データの関連付けを改善することができます。

Qlik DataMarket データセットからデータをロードすると、データは複数のテーブルに割り当てられます。これらのテーブルは、生成されたキー項目によって関連付けられます。データセットのメジャーと期間は、データセットの名前が割り当てられている 1 つのテーブルに統合されます。軸の項目は、個別のテーブルに割り当てられます。

[Qlik DataMarket での関連付けの作成](#)

アプリの公開

Qlik Senseからアプリを公開できるようになりました。以前のバージョンでは、Qlik Management Console からのみアプリを公開できました。

[アプリの公開](#)

新しい言語サポート

Qlik Sense は新たに次の 4 言語に対応するようになりました: ポーランド語、トルコ語、韓国語、繁体字中国語。アプリは、アラビア語、ヘブライ語などの双方向言語の表示に対応できるようになりました。

アプリへのスタイル適用

アプリにスタイルを適用し、会社の規格に基づいてアプリをカスタマイズできるようになりました。

スマート検索に視覚的な検索を追加

データアイテムと同様に、ビジュアライゼーションを検索できるようになりました。メタデータに検索結果を含むビジュアライゼーションのサムネイルが検索結果として返されます。ビジュアライゼーションをクリックすると、元のシートに直接移動できます。

ウィジェットによるアプリの強化

アプリのスタイルと動作を強化するため、新しいタイプのカスタム オブジェクトとしてウィジェットを作成して使用できるようになりました。ウィジェットのライブラリは、ビジュアライゼーションの拡張とともにアセットパネルに表示されます。ウィジェットは、ビジュアライゼーションの拡張より簡単に構築できます。通常、ウィジェットは、カスタマイズされた KPI オブジェクト、シンプルなチャート型のビジュアライゼーション、テーブル、およびシートナビゲーション オブジェクトです。

タイムアウェア チャート

折れ線グラフの x 軸で連続的なスケールを使用して、時間ベースデータの正確なビューを取得できるようになりました。

Qlik Sense ハブで共有されるコンテンツ

QlikView ドキュメントは、QlikView から Qlik Sense ハブへ共有できるようになりました。

Qlik NPrinting レポートは、Qlik Sense ハブに配布できるようになりました。

その他の変更

緯度と経度のデータから、マップ ビジュアライゼーションで使用するジオポイントを自動的に作成できるようになりました。

ユーザー情報を表示したダイアログ ボックスをハブから開くことができるようになりました。

ドラッグ アンド ドロップを使用して、複数のデータファイルを 1 回でアプリに追加し、添付できるようになりました。

11.2 実装

IPv6

Qlik Senseは、IPv6 をサポートできるようになりました。

Qlik Deployment Console

Qlik Deployment Console (QDC) は Qlik Sense 3.1 ではサポートされていません。

11.3 管理

QMC 内の Monitoring アプリの改善

Monitoring appsに、カスタマイゼーションをより充実させるための代替の軸とメジャーが追加されました。

Operations Monitor アプリに、ユーザー、タスク、アプリ、およびアプリオブジェクトに関する基本 メタデータが追加されました。

License Monitor アプリは、割り当てられた使用可能なトークンと比較してトークンの使用状況をレポートし、アプリ別に加えストリーム別のトークンの使用状況を表示するようになりました。ユーザーとアプリに関する基本メタデータは、アプリ内でも使用可能です。

12 Qlik Sense 2.2 の新機能

12.1 作成、探索、コラボレーション

_データ マネージャー

データ マネージャーのユーザー インターフェイスが改良され、次のような新規機能が追加されました。

- 連結されたテーブルを分割する。
- テーブルと項目の名前を変更する。
- テーブルに計算項目を追加する。計算項目は、数式を使用して項目の結果を定義します。数式内で関数および項目、演算子を使用する。
- 日付およびタイムスタンプ項目の表示形式を変更する。
- 日付とタイムスタンプを含む項目は、ビジュアライゼーションと数式で使用できる日付属性により拡張されます。

_代替の軸とメジャー

代替の軸とメジャーを、プロパティパネルを使用して一部のビジュアライゼーションに追加できるようになりました。代替の軸とメジャーに簡単にアクセスでき、ビジュアライゼーションですぐにデータを変更できます。視覚的な探索メニュー (ビジュアライゼーションの分析中に使用可能) も、これに対応しています。

_ピボット テーブルや他のチャートからデータをエクスポート

ピボット テーブル、積み上げ型の棒グラフ、折れ線グラフ、ツリーマップからデータをエクスポートできるようになりました。

Qlik DataMarket

世界の気象状況、通貨、株式市況のための新しい DataMarket パッケージが利用可能になっています。

データ選択用のインターフェイスが改良されました。

- ライセンス済みのデータセットと無料のデータセットは、はっきり見分けられる形で別々のカテゴリーに分類されています。
- 階層データセットは容易に選択できるよう体系化されています。

データ ストーリーテリング

データ ストーリーテリングが改良されました。

- ビジュアライゼーションにマウスを合わせると、スナップショットを取得できます。
- ビジュアライゼーションのスナップショットを取得する際に、注釈を作成できます。注釈はスナップショット ライブラリ内に表示され、スナップショットを見分けやすくする効果があります。
- スナップショットをストーリー スライドに追加する際、グリッドにパチンとびったりはまるようになりました。
- ストーリー再生では、データポイントにマウスを合わせるとツール ヒントが表示されます。

12.2 実装

Qlik Sense Proxy Service 指標

新たな指標である PrintingLoadBalancingDecisions を、Qlik Sense Proxy Service (QPS) について使用できます。

Qlik Sense Printing Service のログ

Qlik Sense Printing Service (QPR) がログ作成に使用するフォルダとファイルが更新されました。

Qlik Deployment Console のシステム要件

Microsoft Windows 10 が、Qlik Deployment Console (QDC) に対応したオペレーティングシステムとして、新たにサポートされます。

サイトの複製

Qlik Deployment Console (QDC) を使用して、Qlik Sense サイト全体を複製できます。

S3 バケットに保存されたQlik Senseセットアップファイル

Amazon Web Services (AWS) プラグインは、Amazon Simple Storage Service (S3) を使用してQlik Sense設定ファイルのキャッシュを作成するので、新たな各サイトやノードについて起動する必要はありません。

12.3 管理

新しいライセンス オプション

キャパシティベースのライセンスを選択できるようになりました。このライセンスでは、CPU で使用するコアの数を設定できるため、柔軟性に優れています。

アプリのリソース使用を制限する

アプリで使用されるリソース (メモリや時間) を制限するための設定が Qlik Sense Engine Service に加わりました。

新しくなったQlik Management Consoleの監査ページ

監査の概要のページには、セキュリティや同期、ライセンスルールの詳細な表があります。

Operations Monitor アプリが QMC で更新

Operations Monitor アプリが、新たに追加された印刷 (エクスポート) ログ作成と統合されました。新たな Export Overview シートが、アプリに含まれます。

13 Qlik Sense 2.1 の新機能

ここでは、Qlik Sense 2.1 の新機能と更新された機能のポイントを紹介します。

データファイルの添付	サーバー上のアプリに、データをアップロードしたり添付したりできるようになりました。
変数の概要	未公開のアプリで変数の概要を表示したり、変数を作成、編集、削除できるようになりました。
メディア ライブラリ	アプリ内のすべての画像を表示し、新しい画像をアップロードできます。
視覚的な探索	新しい探索メニューを使って、ビジュアライゼーションのプロパティを一部編集できるようになりました。
編集可能な範囲の選択	正確な値を入力して、より詳細な選択範囲を指定できます。
ストーリーのエクスポート	ストーリーを PowerPoint プレゼンテーションとしてエクスポートできます。
レポジトリスナップショットマネージャー	レポジトリスナップショットマネージャー (RSM) を使って、バックアップと復元の手順を自動化できます。

13.1 作成

データの管理

データファイルの添付

サーバー上のアプリに、データをアップロードできるようになりました。ファイルはアプリに添付され、アプリで使用するデータをロードして選択できます。

アプリとビジュアライゼーションの作成

変数の概要

変数一覧で、未公開アプリのすべての変数の概要を取得できるようになりました。この概要から、変数を作成、編集、および削除できます。

数式エディタでのオートコンプリートと色分け

数式エディタへの入力時に、一致するフィールド、変数、関数のオートコンプリートリストから選択できるようになりました。色分けが追加されたことで、数式のどこにフィールド、変数、関数を使用されているかがわかりやすくなりました。

画像の管理

メディア ライブラリ

アプリで使用できるすべての画像を、メディア ライブラリで確認できるようになりました。

画像のアップロード

画像をメディア ライブラリにアップロードできるようになりました。

13.2 探索

ビジュアライゼーションの操作

視覚的な探索

新しい探索メニューでは、分析中に一部のプロパティを変更できます。このメニューは、ビジュアライゼーションをフルスクリーンモードで表示中に使用でき、線グラフ、棒グラフ、円グラフ、散布図で使用できます。これは、簡単なプロパティパネルのようなもので、データの探索をより速く、容易に行えるようにするものです。

編集可能な範囲の選択

正確な値を入力して、より詳細な選択範囲を指定できるようになりました。

13.3 コラボレーション

データストーリーテリング

ストーリーのエクスポート

ストーリーを PowerPoint プレゼンテーションとしてエクスポートできます。

13.4 実装

Qlik Sense 実装の計画

サイトのバックアップおよび復元

レポジトリスナップショットマネージャー (RSM) を使って、バックアップと復元の手順を自動化できます。

クラウドコンピューティング環境での Qlik Sense サイトの実装

Qlik Deployment Console のシステム要件

サポート対象プラットフォームに Microsoft Windows 10 が追加されました。

13.5 管理

Qlik Sense サイトの監視

- 監視アプリで、リロード中に失敗することなく、未完成のログや無効なログを処理できるようになりました。
- 監視アプリでは、自身のリロード履歴を追跡するための簡単なログが生成されます。
- QMC の変更履歴には、監視アプリで追跡されたより詳細な変更の一覧が含まれます。
- *Operations Monitor* の *Errors and Warnings* テーブルは、エラーや警告に関連付けられた他のログ エントリに、よりタイムリーにアクセスできるように更新されました。
- *Operations Monitor* は、成功したリロードと失敗したリロードと共に、中断されたリロードタスクをレポートします。
- *Operations Monitor* のライブラリには、パフォーマンスの監視用にカスタマイズされたシートで使用できる新しいヒートマップのビジュアライゼーションが 2 件含まれています。

14 Qlik Sense 2.0 の新機能

ここでは、Qlik Sense 2.0 の新機能と更新された機能のポイントを紹介します。

Qlik DataMarket	DataMarket サービスは、外部ソースからデータを直接 Qlik Sense に追加することを可能にします。頻繁に更新されるさまざまなソースからのデータを使用できます。
データ マネージャー	データのスマートロードを行う新しいツールです。データ マネージャーは、新しく、視覚的なデータプロファイリングとモデリング機能を使用し、スクリプト言語を学ぶ必要なく、複数ソースからのデータ統合を簡単にします。
アプリ作成とビジュアライゼーション拡張	ビジュアライゼーション機能が拡張および改善されました。マップ機能とマップデータ使用の改良、ピボットテーブルにおける軸のスムーズな使用、大半のビジュアライゼーションにおける演算実行条件追加への対応、散布図における圧縮データ使用、さまざまなインターフェースの改良を実現しています。
エクスポート	ビジュアライゼーションとシートを画像または PDF としてエクスポートおよび印刷できます。
検索機能の強化	応答時間が短くなり、検索の動作が向上しています。

14.1 Qlik Sense での作業

データの管理

データ マネージャー

[データ マネージャー] を使用して、複数のデータソースからアプリにデータを追加できるようになりました。このツールがあれば、データをアプリに取り込むのにスクリプト言語を学ぶ必要はありません。ロード時には、データプロファイリングに基づいて、データどうしの関連性の作成をサポートします。[データ マネージャー] を使用すると、データ選択を編集して、簡単にフィールドの追加や削除を行うこともできます。

Qlik DataMarket

Qlik DataMarket を使用して外部ソースからデータを追加できるようになりました。Qlik DataMarket は、Qlik Sense 内で直接アクセス可能な外部ソースから、最新かつすぐに利用可能な幅広い取り揃えのデータ提供します。Qlik DataMarket は、経済や社会のデータだけでなく、現在と過去の気象データや人口統計データ、為替レートも提供します。

アプリとビジュアライゼーションの作成

マップ ビジュアライゼーション

マップ ビジュアライゼーションの除外値とゼロ値の表示/非表示を選択できるようになりました。ウィンドウのサイズ変更時には、自動的にマップのサイズも変わるようになりました。マップの機能とデザインが改良されました。

ピボット テーブルでの選択

ピボット テーブルで、軸ドロップダウン リストを開かなくても、軸の値を直接選択できるようになりました。

演算実行条件

大部分のオブジェクト([フィルター パネル] または [テキストと画像] を除く)に演算実行条件を追加できるようになりました。演算実行条件は、プロパティパネルで数式として設定されます。オブジェクトは、この数式が満たされるときにのみ計算されます。

散布図の圧縮データ

散布図オブジェクトで、大きいデータセットの密度分布の概要を確認できるようになりました。データのズームやパン、選択を行い、データセットを絞り込むことができます。その際コンテキストは保持され、ミニチャートに表示されます。

ユーザー インターフェイス改善

次の改善が実施されました。

- KPI オブジェクトでの条件付きの色の設定が改善され、リアルタイムで更新されるようになりました。
- ゲージ ビジュアライゼーションに、定義範囲外の値であることを示す矢印が用意されました。
- テーブル ビジュアライゼーションの列コンテンツを、右揃え、左揃え、自動のいずれかで配置できるようになりました。設定はプロパティパネルで変更できます。
- 範囲凡例での選択時の機能が向上しました。
- テーブルとピボットテーブルのスタイルが更新されました。
- KPI オブジェクトと他のオブジェクトタイプとの間で、チャートタイプの変換ができるようになりました。

発見と分析

スマート検索

Qlik Sense の検索機能改善により、応答時間が短くなり、選択項目内の検索がサポートされ、軸の検索ができるようになりました。ユーザー インターフェイスが改良され、モバイル サポートが追加されました。

アプリの管理

アプリの複製

アクセス権のあるアプリをハブ上で複製できるようになりました。これにより、たとえば、元のアプリを変更せずに自分用のコピーを使って作業できるようになりました。

アプリの削除

未公開のアプリをハブから削除できるようになりました。

共有とコラボレーション

シートのエクスポート

Qlik Sense では、PDF ファイルとしてシート全体をエクスポートし、印刷できます。

ビジュアライゼーションのエクスポート

ビジュアライゼーションを画像または PDF ファイルとしてエクスポートできます。

データ ストーリーテリングの使用

スライド上のスナップショットの置換

スライド上のスナップショットを置き換える時に、スナップショットの元になったシートとビジュアライゼーションへの移動を選択できるようになりました。

スライド番号の表示

ストーリーの再生中に、現在のスライド番号と、スライドの合計数を表示できるようになりました。

Qlik Sense Desktop

アプリの移動

Qlik Sense Desktop で作成したアプリを保存するときに、アプリに含まれている画像がアプリの残りのコンテンツとバンドルされます。そのため、アプリを簡単に別のユーザーと共有したり別のコンピュータに移動したりできます。

14.2 Qlik Sense の展開

Qlik Sense 実装の計画

SAML

Qlik Sense は、ユーザーの認証に対する SAML V2.0 の使用をサポートしています。

ポートの追加

ポート 4239 が追加されました。

Qlik Sense Printing Service

Qlik Sense のエクスポート関連のすべてのアクションを管理するサービスが追加されました。

Qlik Sense Service Dispatcher

Qlik Sense Service Dispatcher (QSD) が追加されました。その他の Qlik Sense サービスの起動と管理に使用するサービスコントローラです。QSD で起動されるサービスは、次のとおりです: Migration Service、Data Profiling Service、Chart Sharing Service。

新しいログ フレームワーク

新しいログフレームワークが導入されました。従来のログフレームワークも Qlik Sense で使用できますが、これはトレースと呼ばれるようになりました。

マルチノード サイト実装のガイドライン

マルチノードサイト実装方法についての更新版のガイドラインです。

開発 ノードを含む追加 マルチノード実装シナリオ

開発 ノードの設定方法の情報を含む、新しいマルチノード実装シナリオです。

地理的に分散したサイトの追加 マルチノード実装シナリオ

地理的に分散したサイト向けの追加 マルチノード実装シナリオです。

サイトのバックアップおよび復元

Qlik Sense サイトのバックアップと復元の方法の説明を改善しました。

インストールとアップグレード

インストール

インストールがセントラル ノードとリム ノードで最適化されました。個々の機能のインストールは、選択したノードのタイプによって異なります。リム ノードはプロキシ、エンジン、プロキシおよびエンジン、スケジューラのいずれかとしてインストールすることができ、必要なものをすべてインストールできます。

変更

リム ノードのノードタイプを、プロキシ、エンジン、スケジューラの各タイプに変更できます。個々の機能の追加や削除はできなくなりました。

アンインストール

Qlik Sense のアンインストール時にすべてのデータと証明書を削除するオプションが追加されました。

更新

Qlik Sense がインストールされていて、ソフトウェアのサービス リリース (バージョン x.x.x) がインストールの更新に利用可能になると、更新オプションを利用できるようになります。サービス リリースには、主に、既存のバージョンに適用されるソフトウェアの更新と修正が含まれています。更新は、以前の更新内容や基準となるプログラム自体を削除せずにインストールされます。

更新のアンインストール

更新をアンインストールすることもできます。その場合、更新されたバージョンは Qlik Sense の前サービス リリースバージョンか、メジャー リリースバージョンのいずれか該当するものに戻されます。

クラウド コンピューティング環境での Qlik Sense サイトの実装

新しいユーザー インターフェース

Qlik Deployment Console (QDC) のサイトビューは、Qlik Sense サイトを簡単に管理できる新しいユーザー インターフェースを備えています。

サポートされるプラットフォーム

Microsoft Windows Server 2012 R2 プラットフォームが Qlik Deployment Console (QDC) でサポートされるようになりました。

.NET フレームワークのバージョン

現在、QDC でサポートされている .NET フレームワークのバージョンは 4.5.2 です。

Amazon Simple Storage Service (S3) バケット

S3 バケットへのファイルのコピー方法の説明は、ファイルが自動でコピーされるようになったので削除されました。

ファイアウォール ルール

ファイアウォール ルールの WINRM が Amazon Web Service (AWS) プラグインのセキュリティグループのルールに追加されました。

タイムアウト設定

空きマシンを待つ時間のタイムアウト設定が追加されました。この設定は、VMware vSphere プラグインがマシンプールとともに使用される場合に、使用されます。

14.3 Qlik Sense の管理

Qlik Sense サイトの管理

新しいテーブル

新しい、改良されたテーブルが QMC 全体に実装されました。表示する列を選択し、各列の幅を調整できるようになりました。

検索

QMC のほぼすべてのテーブルで検索を実行できるようになりました。検索条件は、整理して複数のサブグループにしたり、列フィルタリングと組み合わせたりすることができます。

リロード タスクのスクリプト ログのダウンロード

QMC から リロード タスクのスクリプト ログ ファイルをダウンロードできるようになりました。

Qlik Sense サイトの監視

Qlik Sense 監視 アプリが新しくなりました。ナビゲーションを改善し、レイアウトをよりすっきりとさせたため、Qlik Sense ログの改良点を利用して、より関連性が高く、簡潔なデータを提供できます。

Operations Monitor

Operations Monitor は、リロード タスク、ユーザー セッション、アプリ使用を、包括的でわかりやすく表示します。新しい重要業績評価指標 (KPI) により、状態や傾向の特定が簡単になります。新しいシートと、シート間リンクにより、関連データの閲覧と検索が簡単になります。

ログを使用した Qlik Sense のトラブルシューティング

新しいヘルプ セクション

新しいヘルプ セクションでは、Qlik Sense サービスにより生成されたログを使用して Qlik Sense のトラブルシューティングを行う方法について説明します。

15 Qlik Sense 1.1 の新機能

ここでは、Qlik Sense リリースの新機能と更新された機能をいくつか紹介します。

- 新しいチャートタイプ: ピボットテーブルとKPI
- ビジュアライゼーションの日付および時刻項目
- マップのスナップショット
- インストール後のガイド

15.1 Qlik Sense での作業

アプリとビジュアライゼーションの作成

ピボットテーブル

ピボットテーブルを使用して、データの表示を動的に変更し、興味のあるエリアに焦点を当てることができます。

KPI

KPI を使用してパフォーマンスを追跡します。KPI では、主な値と、オプションで補足的な値が示されます。

データなしでアプリを開く

データをロードせずにアプリを開くことができます。これは、たとえば大量のデータがあってロードに時間がかかる場合などに便利です。

シートサムネイル

シートのサムネイルを変更して、アプリ概要の中でシートを見つけやすくすることができます。

グローバルメニューからのシートの複製

シートの編集や分析中にも、アプリ概要またはシートビューのグローバルメニューを使用してシートを複製できます。

ショートカットメニューからのシートの編集

アプリ概要またはシートナビゲーターのシートをロングタッチ/右クリックすることでシートの編集を開始できます。

その他のシートの詳細

シートの詳細には、シートが公開および更新された時期、その操作をした人物の情報が含まれます。

日付および時刻項目

ビジュアライゼーションで、日付および時刻項目を使用できるようになりました。これらの項目は自動取得項目であり、データロードスクリプト内でカレンダーテンプレートによって定義されており、スクリプトの実行時に生成されます。これらはアセットパネルに表示されます。

データストーリーテリングの使用

スライドの複製

ストーリーでスライドを複製できるようになりました。

マップのスナップショット

マップのスナップショットを取得できるようになりました。

スナップショットのサイズ変更動作の変更

スナップショットのサイズ変更動作 (縦横比を維持) を変更できるようになりました。スナップショットのロックの解除時に、段階的公開技術を使用して自由にサイズを変更できるようになりました。

ストーリー サムネイル

ストーリーのサムネイルを変更して、アプリ概要の中でストーリーを見つけやすくすることができます。

ショートカットメニューからのストーリーの再生

アプリ概要またはストーリーナビゲーターのストーリーを右クリック/ロングタッチすることでストーリーの再生を開始できます。

その他のストーリーの詳細

ストーリーの詳細には、ストーリーが公開および更新された時期、その操作をした人物の情報が含まれます。

15.2 Qlik Sense の展開

インストールと設定

インストール後のガイド

インストール完了時のシステムの設定についてガイドするオンラインヘルプを参照できるようになりました。

15.3 Qlik Sense の管理

Qlik Sense サイトの管理

Qlik Management Console ユーザー インターフェイス

より良いコントラストと視覚的階層の改善により、QMC のユーザー インターフェイス テーマが更新されました。操作バーのレイアウトとスタイルが改善されました。また、テーブルヘッダー情報が追加され、ヘルプ マニュアルも改善されました。

仮想プロキシと負荷分散

仮想プロキシが独立したリソースとなり、QMC スタートページから直接アクセスできるようになりました。負荷分散が、仮想プロキシレベルで実行されるようになりました。

Qlik Sense サイトの監視

空のチャートとテーブル

Operations Monitor と License Monitor のチャートおよびテーブルのビジュアライゼーションが空の場合に、説明用のテキストがそのどちらにも追加されるようになりました。そのテキストでは、データが存在しない理由が説明されます。

監視 アプリのカスタマイズ用 ライブラリ

Operations Monitor および License Monitor の両方に、ビジュアライゼーションに使用する軸とメジャーへのアクセスを提供するライブラリが含まれるようになりました。これらの軸とメジャーを使用すると、特定の環境向けの追加のビジュアライゼーションを作成できます。

ライブラリには、カスタム シートに追加できる追加のチャートビジュアライゼーションも含まれます。

QMC Change Log シート (Operations Monitor)

新しい QMC Change Log シートで、QMC 設定の変更内容を追跡できます。

基準線 (Operations Monitor)

24-hour Summary and Performance History のチャートに基準線が追加され、サーバー CPU と RAM 使用率のしきい値と28日間の平均が表示されるようになりました。

アプリによるライセンス使用状況

新しい Usage by App シートで、個々のアプリによって使用されているライセンスとトークンの数を追跡できます。このシートには、ログインおよびアクセスパスの両方が使用されているアプリが表示されます。使用値は、割り当てられたパス数ではなく、使用されたパス数です。

クラウド コンピューティング環境での Qlik Sense サイトの管理

ローカル ユーザー グループ

ローカル ユーザー グループは、Qlik Deployment Console (QDC) ユーザーを承認するために使用されます。

QDC との通信用の新しいポート

QDC で、http、https、SignalRPort 用の新しいポートが使用されます。